



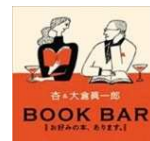
2018年7月号 Vol.13  
情報メディア教育センター

**「この文面で前にもメールしたことがあるけどいいや君まで届け」**

永井 祐『日本の中でたのしく暮らす』

梅雨が明ければ、夏本番。夏休みももうすぐです。この歌は平凡な日常の恋を謳ったさわやかでライトな歌。君にいそいで何かを伝えたい、どこかはじけるような感じが今の季節にピッタリときます。

さて EMC では図書館で除籍になった本を皆さんにお分けする「リサイクルフェア」を7月に実施する予定です（裏面参照）。赤本もありますよ。どうぞお見逃しなく。



**EMC版「BOOK BAR：お好みの本、あります。」恋愛小説ざっくり座談会**

7月の2階メイン展示は「キュンキュンど直球恋愛小説特集」です。切なく、ほろ苦く、可愛くて青春真っ只中の皆さんに読んでもらいたい本を集めました。ついでに EMC のスタッフにもオススメの恋愛小説についてざっくばらんに語ってもらいました。内輪話なんですけど、何かいいことを喋ってくれているかな。お時間のある方はどうぞお聞き下さい。

大塚：私、大塚のイチ押しは、夏目漱石の『三四郎』。九州から東京帝大に進学した三四郎が、東京で高嶺の花、美禰子に一目ぼれしてしまう。思わせぶりの態度をとる美禰子に不器用ながらも一途にアタックするのですが、結局はかなく失恋するというよくあるストーリーです。羊の形をした雲を迷羊（ストレイシープ）にたとえた色鮮やかな情景描写が特に好きで、なぜだか切なくなる。こんなにピュアな青春を描いたとき漱石は40代だったというから、驚きです。

内田：さすが EMC の影の帝王ならではの王道のチョイス。内田が高校の時に読んで印象に残っているのは山田詠美の『放課後の音符』ですかねー。恋すると人って変わるでしょう？例えば「独り行動が増えた」とか、「靴下の中の足首にすごく繊細なアンクレットつけてる」とか。いつも一緒だったはずの男友達・女友達がいつのまにか知らない面を持っていることに気づく。焦る。みたいな。誰でも通って青春の描写。ひとに歴史あり、ですな。

坂下：僕は歴史小説は、まあまあ好きなんですけどね。浅田次郎の『壬生義士伝』なんか何回読んでも泣けてくる。恋愛本では辻仁成の『サヨナライツカ』、『冷静と情熱のあいだ』、『五女夏音』……などなど読んだけど、あんまり記憶に残っていないなあ。

大塚 最近、文芸評論家ぶりがすっかり板についてきた藤崎さん、恋愛小説はいかがですか？

藤崎：なんととっても、あだち充の『タッチ』です！ キュンキュンきました。ヒロインみなみちゃんは僕の永遠の憧れです。みなみちゃんは野球部のマネージャーもしてたんですよ。僕は高校時代、野球部だったんですけどマネージャーは男子で、僕の青春は砕け散りました（泣）。

堀川：恋愛小説ではないけれど、『世界は素数でできている』という本をおすすめします。素数は「1と自分自身以外では割り切れない」自然数なんですが、1と自分という二人だけの世界がそこあって、「割り切れない」が続くと余計切ない感じがしませんか。

内田：やっぱり数学する人はロマンチストですねー。

黒川：今、放映中の北川悦吏子原作『半分、青い』はヒロインを中心とした三角関係、人間模様が面白く目が離せません。同氏のいずれもTVドラマでヒットした『ビューティフルライフ』、『オレンジティズ』もおすすめ。もっと懐かしいところでは伊勢の離島を舞台にした三島由紀夫著の『潮騒』ですかね。これも映画化されました。

大塚：恋愛小説の中には映画やドラマになったものも多いですね。『君の膵臓を食べたい』とか『植物図鑑』とか。生徒の皆さんにはいろいろな形の愛や恋の話をたくさん読んでみてほしいです。DVDから入ってもOK。「これは自分だ！」と共感したり、「わけわからんし。何で？」と理解に苦しむこともあり。感じ方は自由です。きっと「キュンキュン」というのは10代の感受性が何かを受信する音。残念ながら大人になると感度が鈍くなる。

坂下：要するにキュンキュンできるうちにたくさん本を読むことが大事ということですね。一同：そういうこと！（以下略）

実はこのようなカウンター内での雑談は非常に大事で、次の企画や活動のヒントになることも多いのです。今回、話題に上った本は特集コーナーに展示しています。（残念ながら『タッチ』はありませんが。）興味を持ったらずい読んでみてくださいね。（文責：大塚）

**新着図書ピックアップ**

『14歳の水平線』



椰月 美智子/著

夏休み、中学生の加奈太は14歳限定のキャンプに参加する。飛び込みに熱中し、ケンカで殴り合い、自意識を持てあまし、初恋に身を焦がし、友情を知り、身近な死に直面する……。思春期の少年が、心身すべてで感じとったものを余すことなく描いた成長物語。

『おいしい文芸 こぼこぼ珈琲』

杉田 淳子/武藤 正人/編

珠玉の珈琲エッセイ31篇を収録したおいしい文芸シリーズ第11弾。植草甚一、村上春樹、常盤新平、寺田寅彦ほかによる、こぼこぼ、ゆったり、ほっと、なアンソロジー。美味しい珈琲が飲みたくなります。珈琲好きにはたまらない一冊。



『数学ガール／ポアンカレ予想』

結城 浩/著



《ポアンカレ予想》はフランスの数学者アンリ・ポアンカレが提示した位相幾何学の問題。百年間、誰も証明できなかったが、21世紀の初めロシアのグリーシャ・ペレルマンによって証明された。本書はポアンカレ予想をテーマにトポロジー（位相幾何学）などの数学的題材を、数学ガールと僕が解き明かしていく。

上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

本を読み始めた図書館員・藤崎一臣の  
**本、読んでいこう！ Vol. 12**  
『道をひらく』松下幸之助【著】

祝・連載1周年。藤崎本  
コーナーができました！  
見に来てね♡



## 7・8月の開館予定

7月		8月	
1 日	休館	1 水	8:10-16:50
2 月	8:10-18:50	2 木	8:10-16:50
3 火	8:10-18:50	3 金	8:10-16:50
4 水	8:10-18:50	4 土	休館
5 木	8:10-18:50	5 日	休館
6 金	8:10-17:50	6 月	休館
7 土	休館	7 火	休館
8 日	休館	8 水	休館
9 月	8:10-17:50	9 木	休館
10 火	8:10-17:50	10 金	休館
11 水	8:10-17:50	11 土	休館
12 木	8:10-17:50	12 日	休館
13 金	8:10-17:50	13 月	休館
14 土	休館	14 火	休館
15 日	休館	15 水	休館
16 月	休館	16 木	休館
17 火	8:10-17:50	17 金	休館
18 水	8:10-17:50	18 土	休館
19 木	8:10-17:50	19 日	休館
20 金	8:10-17:50	20 月	8:10-16:50
21 土	休館	21 火	8:10-16:50
22 日	休館	22 水	8:10-16:50
23 月	8:10-16:50	23 木	8:10-16:50
24 火	8:10-16:50	24 金	8:10-15:30
25 水	8:10-16:50	25 土	休館
26 木	8:10-16:50	26 日	休館
27 金	8:10-16:50	27 月	8:10-16:50
28 土	休館	28 火	8:10-16:50
29 日	休館	29 水	8:10-16:50
30 月	8:10-16:50	30 木	8:10-16:50
31 火	8:10-16:50	31 金	8:10-16:50

Emc  
Navi

## リサイクルブックフェアのお知らせです。

図書館の除籍になった本を差し上げます。無料です。タダです。お早めに選びに来てね。

# Recycle Book Fair

図書館で除籍になった本を差し上げます。  
 どんな本が並ぶかお楽しみ。  
 受験生には赤本もありますよ！

7/  
**6**  
⋮  
**13**

場所：EMC 2階

### 図書館からのお知らせ

- 夏休みの長期貸出はしめます。図書館では夏休みに長期貸出をおこないます。  
 7月17日～8月3日の期間に本を借りると、返却日は一律で9月3日になります。
- 7月23日～8月31日の夏休み期間中の開館時間は8:10～16:50です。  
 閉館時間が15:30になる日もあります。左のカレンダーを参考にしてください。
- 第64回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書が入ります！  
 ぜひ読んでみてくださいね。

### 告知！！ EMCで鈴青祭にビブリオバトルを開催します！

9月15日(土)鈴青祭(6年制の文化祭)2日目にEMCでビブリオバトルが開催されます。ちなみに「ビブリオバトル」とは、自分が面白いと思った本を観客の前で5分ほどで発表し、発表者たちのおすすめ本のうち、どれが一番読みたくなったかを競うゲームです。そこで、おすすめ本を発表してくれる参加者を募集します。本好き、お祭り好き、しゃべり好き、誰でもエントリーOK! 後日、募集用紙が配布されますので、西館・本館・EMCに設置する回収ボックスの中にこっそり入れてね。  
 本に深く触れたり、プレゼン能力を鍛えたりするいい機会よ！ お待ちしてまーす。

**編集後記** この1学期、館内は夏休みにメディアブースへ突進する中学生から大学受験に取りくむ高校生まで、個々の目的に応じた利用で賑わいました。夏休みはゆったりと計画を立てて利用してください。(黒川)

ワールドカップ 日本代表の活躍に日本中が盛り上がりましたね。

私と同年代の選手たちが出場する大会でしたので、いつも以上に応援に力が入りました。

前回ご紹介した『心を整える。』で、著者の長谷部陽成選手がオススメする5冊をあげていたので、そのうちの1冊を読むことにしました。またまた、意識高め系の本です。

著者は、Panasonic を一代で築き上げた経営の神様・松下幸之助。

『道をひらく』は121の文章がそれぞれ見開きで完結する程度の短い内容で掲載されていますが、物事の捉え方、考え方、接し方などについて、どう在るべきか経営の神様の言葉の重みをズッシリと感じます。難しいことを求められているのかと思いきや、簡単にまとめると“当たり前のことを当たり前に行いなさい”でした。当たり前のことを当たり前…これができそうでできないんだ…。

経営者として、そして人生の成功者としての哲学が凝縮された作品ですので、社会に出るまでに必ず1回は読んでおくべき1冊であると思います。

ちなみに、私は今回の作品より“読書ノート”つけるようにしました。この読書ノートは、長谷部選手が実践している方法で、心に響いたフレーズを書き写すというものです。以前読んだ本を思い返した際、心に響いた/感動した記憶はあるものの、こういったフレーズに心を動かされたかといった具体的な記憶が抜けまわっているのです。そんな時、このノートがあればいちいち本を読み返さず簡単に振り返ることができまわすし、心のカンフル剤としても使えます。

最近、啓発本ばかり続きましたので次回は、ゆるめの本を読みたいと思います。何かオススメ本ありましたら紹介してください♪



### 第9回 犬飼眞愛子先生(教育実習生)おすすめの

#### 『君の臓腑をたべたい』

最近読んだ本で感動した『君の臓腑をたべたい』を紹介します。最近映画でも公開されました。主人公であるおとなしく地味な男の子が、ある病院で女の子と出会います。主人公とは正反対で天真爛漫な女の子でしたが、実は病気なのです。それでも、強く生きる彼女の生き方に尊敬し、彼の生き方がどんどんと変わっていくのです。文中で「生きるということは、誰かと心を通わせること」という文が出てきますが、私はこの言葉に感動し、自分自身もただ生きているだけでなく、人との出会いを大切にしていきたいと思わせてくれた本です。特に3年生の皆さんには、卒業までちょっとしかない高校生活の出会いと1日1日を大切に過ごしてほしいと思い、この本を紹介します。

住野よる【著】 双葉社(発売)

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？